

2014 年 10 月 8 日

発行：日本福祉介護情報学会 (<http://jissi.jp>)
埼玉県新座市北野 1-2-26
立教大学コミュニティ福祉学部
森本研究室内 info@jissi.jp

【目 次】

1. 第 15 回研究大会報告	P. 1
2. 会員総会報告	P. 2
3. 第 2 回「研究・実践企画奨励助成制度」の選考結果	P. 2
4. 2013 年度決算	P. 3
5. 第 6 期役員選挙のご案内	P. 4
6. 事務局から	P. 4

1. 第 15 回研究大会報告

日本福祉介護情報学会理事・第 15 回研究大会 事務局
(北翔大学) 林 恭裕

日本福祉介護情報学会第 15 回研究大会が、9 月 21 日に札幌市内の藤女子大学で 50 名を超える参加者を迎え、以下の通り、開催されました。北海道での開催は、第 9 回大会以来となります。

大会は、午前 10 時から自由研究発表により始まり、6 題の自由研究発表が 2 会場にわかれて 11 時 30 分まで行われました。

12 時 30 分から学会総会が開催され、事業報告、収支決算、事業計画、収支予算等が原案通り承認されました。

13 時からの主催者挨拶に続いて、高橋紘士代表理事による基調報告「包括的支援と情報問題」が 13 時 40 分まで行われました。その中で、ノーマライゼーションを基調とする地域生活支援について、従来の施設中心（地域社会からの排除）から地域社会での包摂を前提とする仕組みをどのように構築するか、そのために個人情報をごどのように活用していくか、が提起され、次のシンポジウムへ引き継がれました。

14 時から 17 時まで、地域生活支援における個人情報活用の課題をテーマにシンポジウムが行われました。シンポジストは、札幌市社会福祉協議会の佐藤和人さん、砂川市介護福祉課の吉川美幸さん、札幌市厚別区第 2 地域包括支援センターの石崎剛さん、日立製作所の前田みゆきさん（本学会理事）の 4 者で、コーディネータには田園調布学園の村井祐一さん（本学会理事）、コメンテータには立教大学の森本佳樹さん（本学会理事）が就きました。

最初にシンポジストから報告があり、前田さんからは、笠間市における介護健診ネットワークの取り組みについて、佐藤さんからは、札幌市において進められている町内会単位の福祉マップづくりにおける個人情報の取り扱いについて、石崎さんからは地域包括支援センターと障害者自立支援協議会の協働した取り組みの中での個人情報の取り扱い、吉川さんからは、地域における支えあい活動を推進するための条例による個人情報の社会福祉協議会、活動に取り組む町内会への情報提供のシステムづくりについての報告がありました。この後、フロアからの質疑応答、コメンテータからの提言等があり、活発な意見交換が行われました。シンポジウムは、参加者にはおおむね好評で、とてもよかったという声が大会終了後に事務局によせられました。

ご多忙中、また遠方よりご参加いただき、主催者として厚くお礼申しあげます。（大会の詳細は、本学会紀要の第 12 号に掲載される予定です。）

2. 会員総会報告

日本福祉介護情報学会理事・事務局長
森本 佳樹（立教大学）

2014年9月21日（日）の日本福祉介護情報学会第15回研究大会において会員総会が開催され、以下の議案について協議し、承認されたので報告します。

《報告事項》

- (1) 学会の運営について
- (2) 会員加入状況（2014年9月21日現在）
131名（個人会員：112名 学生会員：18名 名誉会員：1名）
- (3) 研究紀要『福祉情報研究10号』『福祉情報研究11号』について
- (4) 「研究・実践企画奨励助成」2013年度実施報告並びに2014年度審査結果報告

《審議事項》

- (1) 2013年度事業報告・決算
- (2) 2014年度事業計画（案）・予算（案）

《その他》

- (1) 2015年度研究大会の開催について
- (2) 役員選挙の実施、選挙管理委員会の委嘱並びに住所等変更届の提出のお願い

3. 第2回「研究・実践企画奨励助成制度」の選考結果

日本福祉介護情報学会理事・事務局長
森本 佳樹（立教大学）

第2回「研究・実践企画奨励助成」は、9月20日（土）に開かれた選考委員会において、以下の研究・実践企画が採択されたので報告します。

《テーマ》特別養護老人ホームにおける利用者支援向上のためのケアワーク記録の活用に影響を与えている要因に関する研究

《申請者》北舘 一弥（東京福祉大学大学院）

《期間》2014年10月1日～2015年10月31日

《助成額》10万円

《備考》申請者は、2015年11月15日までに「研究・実践企画成果報告書」を提出し、第16回研究大会自由研究発表（2015年12月 田園調布学園大学を予定）において報告していただきます。

5. 2013 年度決算

日本福祉介護情報学会2013年度決算

2014/5/25

自 2013.04.01 ~ 至 2014.03.31

《収入の部》				
項 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
1 入会金収入	40,000	16,000	24,000	
1-1 正会員	30,000	12,000	18,000	@3,000×4人
1-2 学生会員	10,000	4,000	6,000	@2,000×2人
1-3 法人会員	0	0	0	@100,000×0社
1-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0人
2 会費収入	585,000	729,000	△ 144,000	
2-1 正会員	540,000	666,000	△ 126,000	@6,000×111人分(実85人)
2-2 学生会員	45,000	63,000	△ 18,000	@3,000×21人分(実13人)
2-3 法人会員	0	0	0	@100,000×0社
2-4 賛助会員	0	0	0	@30,000×0人
3 参加費収入	50,000	60,000	△ 10,000	
3-1 参加費収入	50,000	60,000	△ 10,000	9/7学習会参加費
4 雑収入	5,000	225,508	△ 220,508	
4-1 雑収入	5,000	225,508	△ 220,508	預金利子・大会剰余金・資料頒布
5 繰越金	4,039,000	3,992,967	46,033	2012年度決算額
5-1 基本財産繰越金収入	1,239,000	1,217,000	22,000	
5-2 前年度繰越金収入	2,800,000	2,775,967	24,033	
合計	4,719,000	5,023,475	△ 304,475	

《支出の部》				
項 目	予 算	決 算	増 減	摘 要
1 事業費	1,470,000	904,490	565,510	
1-1 理事会開催費	250,000	30,440	219,560	
1-2 研究大会助成費	350,000	350,000	0	立教大学森本研究室
1-3 委員会費	100,000	0	100,000	
1-4 紀要発行費	300,000	262,950	37,050	
1-5 学習会開催費	70,000	30,100	39,900	9/7学習会謝礼・消耗品
1-6 広報活動費	100,000	131,000	△ 31,000	HP更新費用及び毎月メンテ費用
1-7 研究助成費	300,000	100,000	200,000	助成1件
2 事務費	190,000	80,070	109,930	
2-1 什器・備品費	20,000	1,890	18,110	発送用品購入
2-2 印刷費	50,000	0	50,000	
2-3 通信費	110,000	73,780	36,220	
2-4 事務補助員費	10,000	4,400	5,600	ニューズレター等発送事務
3 繰越金	1,279,000	4,038,915	△ 2,759,915	2014年度への繰越額
3-1 基本財産繰越金	1,279,000	1,233,000	46,000	入会金及び入会金繰越額相当
3-2 次年度繰越金	0	2,805,915	△ 2,805,915	
4 予備費	1,780,000	0	1,780,000	
合計	4,719,000	5,023,475	△ 304,475	

貸借対照表

《借方》	
科 目	金 額
流動資産	4,038,915
預金(普通預金)	4,035,915
未収金(会費等)	3,000
現金	0
資産合計	4,038,915

《貸方》	
科 目	金 額
流動負債	0
前受金	0
未払金	0
負債合計	0
基金	1,233,000
基本財産	1,233,000
剰余金	2,805,915
当期剰余金	2,805,915
純財産合計	4,038,915
負債・純財産合計	4,038,915

日本福祉介護情報学会2013年度決算に
 ついて、同学会会則第14条5)にもとづき
 決算書、貸借対照表、証憑、預金通帳等
 により監査を行った結果、いずれも適正に

執行され、過誤ないものと認めます。

平成 26年 5月 18日

監事 太田 貞司

監事 石川 治江

4. 第6期役員選挙のご案内

日本福祉介護情報学会理事・事務局
(東京都社会福祉協議会) 須永 誠

本学会役員(理事・監事)の任期は、会則で3年と定められており、2012年5月に選任された現役員は、本年度が任期の最終年度になります。

これに伴い、新たな任期(2015年度～2017年度)の役員を選出するための選挙(役員選挙)の実施に向け、先日札幌で開催された本学会大会の会員総会において、選挙管理委員の選任を行うことについて了承をいただきました。

役員選挙の実施にあたっては、会員ひとりずつの選挙権・被選挙権の有無を確定する必要がありますが、その要件は「選挙実施の前年までの会費が納入されていること」と定められています。

学会費の未納がある会員には、次号のニューズレター発行に合わせて、納入依頼文を同封する予定です。お忘れなく納入をお願いします。

加えて、選挙人・被選挙人名簿を作成するため、会員として現在学会に登録されている事項の確認・更新をいただくための調査を実施しますので、ご協力をお願いします。

これらの作業を年度内に完了し、今年度末の理事会にて、役員選挙にかかる有資格会員を整理し、選挙管理委員会にたいして、新年度早々の選挙実施をお願いすることになります。

役員選挙の具体的な段取りは、新年度早々、選挙人資格を有する会員に対して、選挙実施通知を郵送してお知らせいたします。

なお、この時期に、学会費が3年以上未納状態にある会員は、「会員としての義務を果たしていない」と判断し、会則に定める「除名処分」の適用を理事会が決定し、当該本人に親展郵便にてお知らせするとともに、ニューズレターおよびホームページにて氏名等を公表することになります。

6. 事務局から

日本福祉介護情報学会理事・事務局
(東京都社会福祉協議会) 須永 誠

(1) 事務局から

9月20日、札幌の藤女子大学で学会大会が開かれましたが、次年度の大会は、12月初旬に、田園調布学園大学での開催が予定されています。

学会研究紀要「福祉情報研究」10号と11号の編集作業が進められており、今までの遅れを解消すべく、今期の役員任期中に発行する予定です。

次号のニューズレターは、2月に発行する予定です。

今後、年度末に向けて、これらの郵便物等を送付する機会が増えることが予測されますが、ご連絡先等に変更が生じている会員におかれては、事務局あてにお早めにお知らせください。

(2) 会員加入状況(2014年9月末日現在)

正会員 112名 / 学生会員 18名 / 名誉会員 1名

(編集後記)

本年度第3号をお届けします。昨年度から創設した「研究・実践企画奨励助成制度」も2年目を迎え、件数は少ないながらも無事に採択されました。また研究紀要もまだ若干遅れていますが、第10号・第11号も年度内に刊行できる目途がつき、やっと通常のペースに戻るようになります。会員の皆様の一層のご協力をお願いします。(森本)